

モノづくり

MONODZUKURI

開発デザイン



iFデザイン賞2013 プロダクトデザイン賞

扶桑プレジジョン
分光測色計「プリズモ ミラージュ」

外観にこだわら機能追求

扶桑プレジジョン(京都府京都市下京区)は小型の分光測色計「プリズモ ミラージュ」で国際的なデザイン賞「iF(アイエフ)デザイン賞」の2回目の受賞を果たした。可視光の各波長の

分光反射率を測る機器。高価な機械の半額で精密な色の測定や分析が可能という。内蔵の無線LANを通じて、スマートフォン(多機能携帯電話)「iPhone」にも測定結果を送信

し、表示できる。印刷物などを屋外でも測れる機器を念頭に開発を推進。岩盤研究者のニーズも反映してコンパクトかつ頑丈な製品を完成した。竹田直人社長は「(前回受賞して光の入射角度が45度になるよう傾斜をつけた。光は垂直に反射するようにした。またデザイン性を保つため基板を3層構造にし、無線LANと電源、中央演算処理装置(CPU)、液晶表示装置(LCD)を納めた。製造は山本精工(京都府宇治市)に委託する。」

の)小型色測定器を自転車とすると(今回の)測色計は四輪駆動車だ」と特徴を乗り物に例えて比較する。

竹田社長は「分光測色計で1億円の売り上げを目指す」とし、現在1億円の全事業売上高を分光測色計の拡販で増やしたい考えだ。

京都市芸繊維大学の教授にデザインの監修を受ける同社は、外観にこだわらながら機能や使いやすさを追求。測る位置を合わせやすいよう測定部分の形状を先端に向かって細くし、日本工業規格(JIS)に準拠

産物の収穫時期や品質などの判断といった用途を想定し、世界に2度認められたことで海外展開も狙う。(京都・窪田美沙)

iFデザイン賞

ドイツのハノーバー工業デザイン協会が1953年に創設した、世界で最も歴史が長いデザイン賞。米国の「IDEA賞」、ドイツの「レッドドット・デザイン賞」と並ぶ世界3大デザイン賞のひとつで、デザインや品質、素材、革新性、機能性、環境適合などの基準に基づき審査される。プロダクトデザイン賞とコミュニケーションデザイン賞、パッケージデザイン賞で構成。12年実施のiFデザイン賞2013では、プロダクトデザイン賞に世界から3011件の応募があり、981件が選ばれた。